

広島大学インキュベーション研究拠点
「本能行動の発現メカニズムに関する総合科学研究推進拠点
—大学生の生活習慣及び科学リテラシーの確立へ向けて—」
第4回 研究セミナー

本研究拠点の目的は、本能行動をはじめとする様々な生命現象を生命科学・健康スポーツ科学・行動科学等の学際・異分野融合的な立場から解明することです。

この度、学外から講師の先生をお呼びし、講演を行っていただきます。
教員、院生、学部生を問わず多数のご参加をお待ちしております。

【日時】 2015年7月29日（水） 16：30～18：00

【場所】 総合科学研究科 講義室 J306

【演者・講演内容】 岡本 士毅（生理学研究所 生殖・内分泌系発達機構研究部門）

食餌嗜好性からみた本能行動—マウスの脳内摂食調節機構を研究対象として—

岡本先生は、細胞内のエネルギーセンサーであるAMP 活性化プロテインキナーゼ（AMPK）に着目され、摂食行動やエネルギー代謝調節機構について精力的にご研究されています。最近、食餌嗜好性の脳内分子メカニズムを解明されました。食餌嗜好性を含めた脳内摂食調節機能について、分かりやすく講演をしていただく予定です。

【問合せ】 浮穴和義（総合科学研究科
行動科学講座 内線6571）

*本研究セミナーは、総合科学推進プロジェクトの支援を受けています。

また、理系大学院（総合科学・理学・先端物質科学・工学・生物圏科学研究科）の認定科目として開催します。